

謹賀新年



新年のご挨拶

久留米市社会福祉協議会
会長 中島 年隆

震や大雨などの自然災害が相次ぎました。令和7年8月豪雨災害では、福津市や古賀市に職員派遣や物資等の支援を行いました。熊本県八代市では、市と協働し、災害ボランティアバスを運行いたしました。本年も行政や

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の地域福祉活動の推進に対し、格別のご理解とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。昨年も全国各地で地

様々な分野の皆さまと連携し、ともに支え合う地域づくりに努めております。

令和8年度からは、「第2期くるめ支え合う

プラン」がスタートいたします。このプランは、

誰もが自分らしく幸せに暮らせる地域をとも

につくっていく「地域共生社会」の実現をめざし、

市と一体的に策定してい

ます。本会といたしましては、人と人、人と地域

の多様な資源とのつな

がりづくりを進め、「支

え合うこころあふれる

まちくるめ」の実現に

通じて、支援活動に必要な心構えを、心理学や社会学の知見を交えながら分かりやすく伝えていただきました。

講演では、生きづらさを抱える若者たちと向き合った経験を通じて、支援活動に必要な心構えを、心理学や社会学の知見を交えながら分かりやすく伝えていただきました。

「親の依存先も少ない現状があります。自立とは、たくさんの依存先があつて、適度に支え合っているから生きていくことです。」など、子どもたちと地域の関係の大切さを紐解きながら、地域に根ざした居場所づくりのヒントをいただきました。



記念講演

講師

筑紫女子大学 人間科学部人間科学科
心理・社会福祉専攻
准教授 大西 良氏

今回の
報告記事



第53回久留米市社会福祉大会



記念講演の様子